

平成 28 年 8 月 18 日

特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会  
理事長 兵頭 明夫 先生

脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会  
代表  
公益社団法人日本脳卒中協会  
常務理事（理事長特別補佐）

山口 武典

拝啓 貴殿におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先日は、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法案」の賛同者としてホームページ等で公表することについてご了承いただき、有難うございました。目下、「脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会」のホームページを準備中です。

今後、賛同の輪を拡げていくために、賛同者として氏名をホームページ等に公表させていただける有識者を募りたく存じます。有識者の範囲は、医療関係者や学術関係者にとどまらず、政治家、実業家、マスコミ関係者、芸能人など、幅広い方々にご協力いただければ、より多くの市民の方々にアピールできると考えております。

つきましては、貴学会関係者様から、ご協力いただけそうな方に呼びかけをしていただけないでしょうか。そのための説明文と返信用ファックスを各 10 部同封いたします。追加送付が必要な場合は、日本脳卒中協会事務局（06-6629-7378）までご連絡ください。

ホームページは、9 月中には公表させていただく予定ですが、公表後も随時賛同者リストをアップデートしてまいりますので、締め切りは設けません。ご多忙のところ申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

## 健康寿命の延伸等を図るための

# 脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法 の成立にご協力・ご支援を！

### これまでの経緯

平成 21 年から脳卒中関連 14 団体の後押しで立法化を目指していた「脳卒中対策基本法」ですが、平成 26 年に参議院に議員立法として発議されたものの、衆議院解散をもって廃案となりました。

その後、この法案を基にして心臓病対策も加えた新法案である「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法案」が検討されております。

### 脳卒中・心臓病対策の現状と課題

ご存じの通り、脳卒中と心臓病（特に虚血性心疾患や大動脈疾患など）は密接に関連した疾患群であり、両者を合わせると国民の死亡原因でもがんに匹敵しています。また、脳卒中は寝たきりの最大の原因であり、患者のみならず家族の負担も大きく、多くの医療・社会資源と医療費・介護費を必要とする疾患群です。高齢化の進展に伴い、患者数も増加の一途を辿っております。

単に平均寿命を延長するのではなく、健康寿命の延伸と生活の質の向上を図ることが、国民の福祉のためにも、また、総医療費・介護費の抑制といった観点からも、求められています。そのため、脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防、国民の啓発、医療体制の整備・拡充、患者とその家族への医療・福祉サービスの充実、研究の推進、登録事業の確立等を目的とする法整備は喫緊の課題です。

国の脳卒中と心臓病に対する政策は、平成 18 年に立法化された「がん対策基本法」に基づく、がんへの対策と比較して大きく遅れているのが現状です。脳卒中と心臓病その他の循環器病に対する基本法は、現在これらの疾患に罹患している患者とその家族ばかりでなく、次世代の国民にとっても、健康的で良質な生活を過ごすために大変重要な法律であり、患者団体や学術団体のみならず、すべての国民が成立を切望している法案であると考えます。

つきましては、本法の一刻も早い成立に、ご理解と積極的なご協力・ご支援をいただきますと幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会

代表 山口 武典（公益社団法人 日本脳卒中協会）

矢崎 義雄（公益財団法人 日本心臓財団）

# F A X 送付票

FAX 送付先： 06-6629-7377

公益社団法人日本脳卒中協会

脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会  
代表

公益社団法人日本脳卒中協会 山口 武典 殿  
公益財団法人日本心臓財団 矢崎 義雄 殿

私は「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」の成立に賛同し、要望書やホームページ等の賛同者欄に氏名・所属を掲載することを了承します。

日付 平成 年 月 日

ご所属 \_\_\_\_\_

ご署名 \_\_\_\_\_

ご意見があれば、以下にご記入御願いたします。

---

---

---